

## 一般演題－Ⅰ

11：25～12：35

座長 大阪警察病院 診療サービス課 課長  
座長 大阪保健福祉専門学校 教務副部長

大門 友樹  
吉崎 歌葉子

### 1. 目指すべきものは“患者ファースト”

～患者様により良い医療を提供するために～

新潟ビジネス専門学校 医療秘書・事務学科 2年  
○信國 沙弥 樋口 奈菜

### 2. 医療コンシェルジュの必要性

～選ばれる医療機関になるために～

大阪医療秘書福祉専門学校 診療情報管理士科<sup>1</sup> 2年 医療秘書科<sup>2</sup> 1年  
○上垣 ゆめ<sup>1</sup> ○豊田 優美香<sup>1</sup> ○松本 愛梨果<sup>2</sup>

### 3. 遊びがもたらす外来の主観的待ち時間の変化の検討

東京医薬専門学校 医療秘書科 2年

○渡邊 佳奈 ○市原 美絵 ○小川 佳奈 大友 正美 桑原 いずみ 白倉 美沙 張 帥

### 4. 在宅医療における医療秘書の役割

あいちビジネス専門学校 医療秘書科 2年

○佐藤 麻凜 ○水野 成美 加藤 舞海

### 5. 理想的な医療秘書になるために

～各養成校のカリキュラムから見えるもの～

学校法人原田学園 鹿児島キャリアデザイン専門学校 医療福祉秘書科 2年  
○豊釜 優花 ○榎本 結花 重久 真裕子 中村 まりや

### 6. これからの病院のあり方を患者視点で考える

～STP (Segmentation Targeting Positioning)分析を応用する試み～

早稲田速記医療福祉専門学校 医療マネジメント科 2年

○関根 莉紗子 ○五十嶺 佳奈 高 彩瑛香 高瀬 沙友里 長野 泉和 宮下 歩夢

### 7. 子どもを事故から守るプロジェクト

～家庭で起きる事故ヒヤリハット集の制作～

福岡医健専門学校 医療事務ビジネス科 3年

○八島 彩会里

## 一般演題－Ⅱ

13：35～14：35

座長 医療法人社団洛和会 洛和会音羽リハビリテーション病院 ドクターエイド課 副係長  
大木 啓太郎  
座長 兵庫県立尼崎総合医療センター 眼科 医師事務作業補助者 高岡 三千代

### 1. 介護系施設における新たな事務職員モデル

～多職種をつないで事務的支援を行う「コーディネータ」～

元社会医療法人定和会 介護老人保健施設 灯り

○田中 有希子

2. 大腸癌チーム医療における医療秘書の役割

～チーム医療の一員として医療秘書ができること～

愛媛県立中央病院 消化器外科 医療秘書

○石田 香緒里

3. 医師作成診断書の電子媒体化の取り組みについて

～小児神経科における診断書の電子作成の取り組み～

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪母子医療センター

メディカルクラーク<sup>1</sup> 小児神経科<sup>2</sup>

○広瀬 峰子<sup>1</sup> 柳原 恵子<sup>2</sup>

4. 松山赤十字病院における医師事務作業補助者の軌跡と展望

～10年をふりかえって～

松山赤十字病院 医療秘書課

○天野 紀子

5. 医療秘書が関わるチーム医療

～事務職としてできることは～

J R札幌病院 診療情報管理室

○庄武 美加子

6. 感染対策関連の研修会受講率向上に向けた取り組み

～感染制御室秘書としてのチーム医療への参画～

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 医療秘書課

○石川 友子

一般演題一Ⅲ

14:45～15:55

座長 大阪工業大学 ロボティクス&デザイン工学部事務室 主事

(元 昭和大学病院 管理第一課 係長)

出光 慎太郎

座長 滋賀短期大学 ビジネスコミュニケーション学科 教授

沖山 圭子

1. メディカルホスピタリティ教育により学生の意識に変化が現れるのか

学校法人大和学園 京都栄養医療専門学校 医療事務・医療秘書科

○太田 映美

2. 診療報酬請求事務学習のためのルーブリック評価の活用実践報告

藤田保健衛生大学<sup>1</sup> 岡崎女子短期大学<sup>2</sup>

○荻原 栞里<sup>1</sup> 黒野 伸子<sup>2</sup> 上松 未季<sup>1</sup> 米本 倉基<sup>1</sup>

3. 国際化が求められる医療秘書事情と英語教育

藤田保健衛生大学 医療科学部 臨床工学科

○服部 しのぶ

4. 医療機関の事務職を目指す学生の感染症に関する意識

川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学部 医療秘書学科

○黒木 由美

5. クリニクラウンの活動支援は小児病棟の療養環境向上につながる

関西女子短期大学

○泉 浩実

6. 再検査受診率向上への取り組み  
～重症化予防をめざして～

社会福祉法人聖隷福祉事業団 保健事業部 聖隷健康診断センター  
○石島 愛実 小沢 小百合 安井 有香 山口 園美 鳥羽山 睦子

7. 急性期病棟のみの運営からの転換  
～回復期リハビリテーション病棟導入～

公益財団法人唐澤記念会 大阪脳神経外科病院  
○清田 昌平 河合 勝久 小浦 美幸

**ポスター発表 発表時間 13:00～13:30 閲覧時間 11:30～16:00**

座長 関西女子短期大学 医療秘書学科 准教授 泉 浩実  
座長 兵庫県立尼崎総合医療センター 脳神経外科 医師事務作業補助者 新開 久美子

1. 医師事務作業補助者の業務内容及び基礎知識の習得度に関する調査報告

学校法人大和学園 京都栄養医療専門学校 診療情報管理士科3年  
○内田 萌々 野本 加津江

2. 大学病院における医師事務作業補助者とは

～当科での活用効果に関する定量的検討により明らかとなったこと～

島根大学医学部歯科口腔外科学講座<sup>1</sup> 島根大学医学部附属病院医療サービス課<sup>2</sup>  
○和田 智美<sup>1, 2</sup> 関根 浄治<sup>1</sup>

3. 能動的学習による医学知識習得への取り組み

学校法人大和学園 京都栄養医療専門学校 診療情報管理士科3年  
阿部 薫